

## 地域展開部門

全体活動名	気仙沼市海洋教育研究開発事業
幹事校	気仙沼市教育委員会
メンバー校	大島小学校, 唐桑小学校, 中井小学校, 小原木小学校, 階上小学校, 面瀬小学校, 小泉小学校, 唐桑中学校, 大島中学校, 大谷中学校, 唐桑幼稚園

○気仙沼市では、古くから、地域の自然や伝統文化、水産業等を通して学ぶ「ふるさと学習」が盛んに行われてきた。東日本大震災後は「海と生きる」を復興のキャッチフレーズに掲げ、地域の自然や暮らしのよさを見つめなおしている。海岸線の自然環境や居住地域が大きな影響を受けたことから、海に学ぶ学習の再開を促すとともに、探究型の学びとなるように工夫し、海洋教育として仕立て直しを進めている。

○平成 29 年度は、市立小学校 16 校のうち 7 校、市立中学校 11 校のうち 3 校、市立幼稚園 6 校のうち 1 校、合計 10 校 1 園が地域展開メンバー校として情報交換しながら海洋教育の推進に当たっている。

### 【地域展開の目標】

地域展開メンバー校が連携を図り、地域連携の見直しや再構築を進め、気仙沼の海で子どもたちが学び、育つ「海洋教育」として各校のカリキュラムを仕立て直す。幼小中の発達段階を踏まえて研究を進め、気仙沼の特色を生かした海洋教育モデルを創出する。次期学習指導要領改訂のキーワード「地域に開かれた教育課程」につなげ、質の高い学びを実現させたい。

### 【主な事業の概要】

#### 1 海洋教育推進連絡会の開催

- ・市教委が事務局となり、事業推進についての協議や情報交換、研修を月 1 回程度の頻度で行っている。
- ・メンバー校のほか、海洋教育を推進している市内の公立高校（気仙沼高、気仙沼向洋高）や、連携協定を締結している大学等の参加を得て進めている。

#### 2 実践発表会の開催



・昨年度地元開催した「海洋教育こどもサミット in 東北 2016」につなげる形で、「実践発表会」を 11 月 17 日(金)に実施。各校の実践を子どもたちがポスター発表し、参加者との質疑応答を行った。児童生徒相互の交流もねらいとし、付箋による意見交換や振り返りの場面での意見交流を行った。



・「海洋教育こどもサミット in ひろの 2017 (8/9)」での経験を生かし、発表の質を高めた。各自がそれぞれの思いを語ったり、対話によって気づきを得たりするなど、これまで以上に学びの深まりや成長を感じることができた。

・唐桑地区（1/26）や大島地区（2/16）で独自の実践発表会を行う予定である。地域密着で行い、海洋教育の様子や子どもたちの成長の様子を、保護者や地域の方々に広く周知しようとしている。

#### 3 クロスカリキュラムの研究と海洋教育の推進

- ・最終的には、気仙沼市の子どもたちが必ず学ぶ「ふるさと気仙沼」の学習として、市域全体で海洋教育を推進できるよう、教科・領域を関連させたクロスカリキュラムの研究を各校で進めている。
- ・地域展開のメンバー外においても、気仙沼小学校（県学力向上研究指定校）や鹿折小学校（市学習状況改善事業実践校）が、理科や社会科の教科指導の中で海洋教育をどのように位置づけ、どう指導していくか、実践授業を通して研究を進めている。また、同校からも参加している気仙沼市教育研究員が、地域素材を生かした海洋教育の授業プランの研究に当たっており、相互に連携しながら進めている。